

こんな活動です

# 中学生の思いを地域へ！ 学校と地域が連携・協働して牧を熱くしよう！

新潟県上越市

活動名

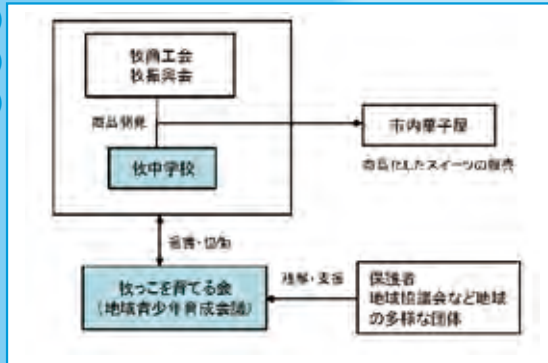
牧っこを育てる会

関係する学校名

牧中学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 0人	地域コーディネーター数 10人	ボランティア登録数 45人	学習支援 無	開始年度 21年度	国庫補助 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 有
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
コミュニティ・スクール	指定日 平成24年4月1日					委員数 11人	児童生徒数 32人	学級数 4学級	

体制図



活動の概要・経緯

- 平成25年度の牧中学校3年生が「牧を熱くしよう！」という強い思いをもち、総合的な学習の時間を中心に、地域の活性化について考えていた。牧商工会による牧のどぶろくを使った「どぶろくスイーツ」の発売に当たり、中学生との連携・協働の可能性を提案した。
- 平成26年度の3年生が、牧商工会企画の「スイーツコンテスト」をきっかけに新しい「どぶろくスイーツ」を考案した。そのスイーツは、「牧の清流」として商品化され販売されている。
- 平成27年度からは、「牧っていいね！」の思いを込めたTシャツ & ポロシャツやゆるキャラを地域に普及させながら、地域の活性化を図っている。
- このようにして、「牧っこを育てる会」では、中学校の総合的な学習の時間における中学生のアイデアを核とした地域ぐるみの活動を展開している。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- 「どぶろくスイーツ」開発への思いや製造過程、中学生ができることを考える講演会の開催
- 「どぶろくスイーツ」販売促進のためのPR活動への参加
- 新しい「どぶろくスイーツ」の考案
- 牧振興会主催の行事でのボランティア活動
- 高齢化地域での元気をお届けする「よさこい出張披露」
- 「牧っていいね！」のTシャツ & ポロシャツの普及
- 故郷の地である「牧区」を知るための、故郷探検と大人との交流活動

### 【実施に当たっての工夫】

- 牧商工会や牧振興会、地域協議会、事業所などと連携・協働を進めながら、中学生と大人の協働の可能性を考え、地域に開かれた教育課程づくりのきっかけを模索中である。
- その年度の3年生を中心に全校生徒で取り組むことで、「牧を熱くしよう！」の思いが下級生や地域に広がっている。
- 市内すべての中学校区単位で実施している「中学生まちづくりワークショップ」においても、「牧を熱くしよう！」という目標の下、牧区地域の大人と生徒が、地域の活性化方策について話し合いを行っている。
- 牧区の行事をはじめ、各種たよりやホームページなど、様々な場面で中学生の思いや取組を広く紹介することで、地域全体に「牧を熱くしよう！」の取組を広げ、地域全体で「牧っていいね！」という思いを共有しようとしている。



地域の方の思いを聞く会

## ● 事業を実施しての効果・成果

- 生徒自身が大人の思いを聞く機会を設けたり、実際に一緒に活動したりすることで、生徒の地域への愛着や自分たちにできることを探そうとする意欲が深まっている。
- 保護者や地域の教育活動への理解が広がっている。
- 単年度で終わることなく、「牧を熱くしよう！」「牧っていいね！」が引き継がれることで、学校全体、地域全体の一体感が育まれつつある。

## ● その他

- 牧振興会(NPO)とは、「牧っこ秋まつり」「牧っこ雪まつり」「ともしびの回廊」など、まちづくり行事に授業日として参加したり、休日ボランティアとして参加している。今後も更なる連携・協働の可能性を考えたい。
- 各関係者や団体がそれぞれの立場で協力する中、生徒たちの思いである「牧を熱くする！」様々な活動を介し、内外ともに「牧っていいね！」と言われる故郷を作りたい。



新しい「どぶろくスイーツ」考案